

紙面紹介

1面 最賃行動 知事選の結果と談話
2面 ツイッターデモ 争議支援行動 都政要請
3面 組織化宣伝 コロナ禍交渉 公務員金
4面 パズル 東京今昔 交差点 相談の窓
E-mail lapaz@chihyo.jp
URL http://www.chihyo.jp

TOKYO はたらく仲間 207

2020年7月15日 (毎月15日発行)

発行 東京地方労働組合 評議会(東京地評)
定価 1部40円(送料別)
〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10 東京労働会館
TEL 03(5395)3171
FAX 03(5395)3240

6月26日今年一回目の中央最低賃金審議会では、加藤勝信厚生労働大臣が経済の好循環実現のために、最賃を含めた賃金の引き上げは重要と



中央最賃審議会開催にあたり、国民春闘共闘の厚労省前宣伝(記事2面)

中央最賃審議会始まる

「凍結論」踏まえた 厳しい諮問

述べながらも、「コロナ感染のなかで、いまは雇用を守る事が最優先となる厳しい状況を考慮するよう」との安倍首相から指示を踏まえた諮問をしました。財界などから出されている「引上げ凍結」を色濃く反映した諮問です。

最低賃金1500円めざし 東京労働局宣伝&要請、全国ON-LINE集会を開催



ボードを掲げて、東京労働局前で早朝宣伝

コロナ禍となり、東京最賃審議会の日程も大きく影響を受ける中、審議日程についても例年とは違う状況となっています。東京春闘共闘では、最低賃金1500円への引き上げを求めて、東京労働局に対して宣伝行動と要請行動を行っています。国民春闘では、最低賃金全国一律1500円へ「6・28ON・LINE全国集会」を開催しています。

東京労働局前で宣伝

最賃引き上げを訴え

東京春闘共闘では、6月15日に、東京労働局に向けて最賃引き上げを求めて宣伝行動を45人が参加して行っています。

宣伝行動は、スタンディングとヒラ&テッシュを配布、東京医労連の「サイイン音頭」も流しています。主催者挨拶を萩原代表が行い、決意表明はコロナ禍における各組合の状況と最賃の必要性について訴えました。東京医労連からはコロナ禍における医療・介護の職場について、全印総連東京からは印刷産業の厳しい状況について、自交総連東京からはタクシートの職場の状況について、全国

6・28ON・LINE全国集会

6月28日ON・LINEにてコロナ禍に克つ！「いまだしょ！最低賃金全国一律1500円」6・28ON・LINE全国集会が開催され、各地から約300人以上が視聴をしていました。コロナ禍の今こそ最賃引き上げが必要、内部留保の活用を明らかにしました。

竹信三恵子と和光大学名誉教授と中澤秀一静岡県立大学短期大学部准教授によるシンポジウムで

の仲間から訴えがされ、東京自治労連からは、都立病院や保健所の状況について訴えました。東京労働局要請は2面ショートカットに掲載。

長時間労働是正と 増員を省庁に要請



文科省での話し合い

雇調金の対象では、福祉法人が大企業に該当されて、利用できないケースの是正について訴えたところ、詳細を確認することを約束しました。総務省では、「残業を一時的・必然性がある場合を除いては、36協定の必要性」と「職員の増員」を要請しましたが、各自治体任せの実態が浮き彫りになりました。

東京春闘共闘と東京地評公務部会が官民共同で、長時間是正とコロナ対策を求めて7月6日に省庁要請を行いました。厚労省交渉では、「医療・介護従事者への国独自の保障」「感染防護員の確保」「保健所の増設・拡充」「公立・公的病院等の再編・統廃合の撤回」「雇用調整助成金の周知徹底と引上げ」等を要請。行政側は第2次補正予算で努力はしているという説明に終始しました。しかし公立・公的病院等の再編・統廃合は、「強制ではない」との回答を得ました。

文科省では、教室の消毒、給食の配膳と手洗いの指導で、より忙しさが増し、35人学級の必要性を訴えましたが、サポーターの配置などのみで、35人学級への言及はありませんでした。回答は不十分でしたが、現場の実態を伝える良い機会となりました。

宇都宮けんじさんが大健闘 前進した共闘が新たな展望開く

東京都知事選挙 井澤智事務局長が談話

7月5日投票で行われた東京都知事選挙で、東京地評が推薦した宇都宮けんじさんは、都政転換を求める有権者の共感を

得て844,151票を獲得しましたが、勝利に及びませんでした。

ご支援・ご奮闘いただいた皆さんに心から感謝

7月5日投票で行われた東京都知事選挙で、東京地評が推薦した宇都宮けんじさんは、都政転換を求める有権者の共感を

得て844,151票を獲得しましたが、勝利に及びませんでした。

ご支援・ご奮闘いただいた皆さんに心から感謝

都知事選

現職の小池都知事が再選されましたが、小池知事は1期目の公約を守らず、実績も語れずに「都庁籠城選挙」とする一方で、「コロナ対策」ではマスク露出、これを選挙戦に置き換えるかたちで選挙戦を展開しました。



広く市民と野党からの支援を受けて奮闘した宇都宮けんじさん (6/30三軒茶屋)

結果は残念でしたが、宇都宮けんじさんを支援するなかで市民と野党の共闘は全都で大きく前進し、かつてない広がりを感じました。東京地評は「労働者連

今後の国政選挙で、首都東京においても安倍政権打倒への土台が築かれました。

この力を確信に、すべての運動の攻勢につなげていきたいと思います。